

何が「国民生活」を

6月8日

野田記者会見

ふざけるな!! 守るためだ!!

フクシマ切り捨ての
大飯再稼働許すな!
7月16日一代々木
反原発10万人集会へ!

大飯再稼働 首相会見

【福井県大飯町】首相は8日午後、大飯町の大飯原発に視察し、再稼働問題について記者会見した。首相は「大飯原発の再稼働は、国民生活を守るためだ」と述べ、再稼働を断念しない意向を示した。

首相は「大飯原発の再稼働は、国民生活を守るためだ」と述べ、再稼働を断念しない意向を示した。

核心

裏打ちなく責任連発

首相は再稼働を断念しない意向を示した。しかし、再稼働の責任は誰が負うのか、という点については、首相は明確な答えを出さなかった。

国民でなく福井向け?

首相は再稼働を断念しない意向を示した。しかし、再稼働の責任は誰が負うのか、という点については、首相は明確な答えを出さなかった。

民主党内「権限と取り違

首相は再稼働を断念しない意向を示した。しかし、再稼働の責任は誰が負うのか、という点については、首相は明確な答えを出さなかった。

6月9日 東京新聞

◆「国民のため」ではなく「大資本のため」

6月8日の野田首相の「再稼働会見」は絶対に許せない! 八つ裂きにしても足りないくらいの、煮え返る怒りでいっぱいです。野田は「福島で避難生活を余儀なくされている皆さん」などと、あたかも福島のことを考えているかのようなそぶりをしながら、ただちに「しかし、人々の日常の暮らしを守る」「国民生活を守る」などとして、フクシマの怒りをねじ伏せてでも再稼働を優先させると宣言したのです。これこそ、「命よりも金儲け」の新自由主義、「棄民政策」そのものだ!

しかし、野田が守りたいのは「国民の生活」ではなく「大資本の利益」です。「人々の暮らし」ではなく「原子カムラの利権」です。そのために安全も命も全部投げ捨てる。いくら「福島のような事故は決して起こさない」などとうそぶいても、福島原発事故は収束せず、安全対策など何も行われていません。

野田政権の今週末での「再稼働決定」を絶対に阻止しよう!

◆原発をなくすため、今こそ行動する時!

「原発がなくなって生活できなくなってもいいのか」などという恫喝で、核・放射能と共存させられる、こういうあり方そのものを変えよう。すべての原発はただちになくす以外にありません。なくす力はどこにあるのか? それは政治家ではなく、私たち自身の行動の中にあります。団結し、キャンパスに学生自治会をつくろう。そして、私たち青年・学生の未来選択として、7月16日の反原発10万人集会に集まろう!

確証なき安全宣言

大飯再稼働すべき

首相来週にも決定

野田首相は8日、官邸で記者会見し、大飯原発の再稼働について記者会見した。首相は「大飯原発の再稼働は、国民生活を守るためだ」と述べ、再稼働を断念しない意向を示した。

夏限定も否定

首相は再稼働を断念しない意向を示した。しかし、再稼働の責任は誰が負うのか、という点については、首相は明確な答えを出さなかった。

事故防げる「根拠どこに

首相は再稼働を断念しない意向を示した。しかし、再稼働の責任は誰が負うのか、という点については、首相は明確な答えを出さなかった。

6月9日 東京新聞

全学連

全日本学生自治会総連合 (斎藤郁真委員長)

TEL 050-3036-6464 <http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp



6・10集会に1800人の結集！ 「新自由主義をうち破るう！」

6月10日、「国鉄分割・民営化反対！ 新自由主義と闘う労働組合をつくろう！」を掲げた国鉄全国集会に、文京シビックホールを埋める1800人が結集しました！

一つは、「外注化＝非正規職化、原発推進、改憲」の新自由主義攻撃と団結して闘い、闘う労働組合を全国・全職場に甦らせようと宣言しました。

二つは、野田政権と電力資本が原発再稼働を進めていることを徹底弾劾し、全原発の廃炉に向かって労働組合と学生自治会が先頭に立って闘おうと誓いました。

三つは、全国学生も大挙参加し、代表して斎藤・全学連委員長が「京大での自治会建設、法大での無罪獲得」の大勝利を誇り高く報告したことです。

“闘えば勝てる！”、全参加者が感動をもって確信しました。この高揚をバネに、7月16日の10万人集会へ！！

斎藤郁真委員長の集会発言！

この間の闘いで2つの勝利をかちとりました！

一つ目は、京都大学での全学選挙で、全学自治会同学会の再建に成功したことです。再稼働をめぐる攻防が激しい今、経営協議会に元関西電力社長・藤洋作が入っている京都大学で、「原発再稼働阻止！ 御用学者追放！ 大学を学生の手に取り戻そう！」を掲げた富山統一候補が3000票もの得票、そして7割を超える信任率をもって登場したことは決定的な勝利です！

「全原発停止」の勝利から、原発を「止める」だけでなく「なくす」———という闘いが求められている中、原子カムラを足下から掘り崩す歴史的な一歩が京大から踏み出されました！

二つ目は、法大暴処法裁判で5月31日に無罪判決をかちとったことです。闘う学生を排除する看板が壊れたことをもって、11人の学生が逮捕され5人が起訴されましたが、無罪をかちとったことは本当に歴史的なことです。

この二つの地平の拡大に、全学連は挑戦します。全国大学に学生自治会を建設し、法大の無罪判決を全国に拡大し、「闘えば勝てる」と示したい。

この夏の最大の焦点である7・16原発反対10万人集会への、キャンパスからどでかい高揚をつくりだしましょう！



7・16 さようなら原発 10万人集会

再稼働阻止！ 被曝労働反対！ すべての原発いまずぐなくそう！

◆7月16日（月・祝）13時～

◆東京・代々木公園にて

※12時半からオープニング・コンサート、13時半からデモ出発

※会場へは、JR原宿駅より徒歩5分、同渋谷駅より徒歩10分

【呼びかけ】さようなら原発1000万人アクション

＜内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、

澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔＞



6万人が集まった昨年9月19日の反原発集会（明治公園）

